

令和 8 年度 椋山女学園大学振興会会報

CONTENTS

- 1 会長挨拶・学長挨拶
 - 2 令和 7 年度事業報告
 - 3 令和 7 年度決算及び会計監査報告
 - 4 令和 8 年度役員・会計監査・評議員・顧問
 - 5 令和 8 年度事業計画
 - 6 令和 8 年度収支予算
 - 7 会則
- 【別冊】 令和 8 年度「父母の集い」開催のご案内

1 会長挨拶・学長挨拶

梶山女学園大学振興会

会長 総見 宗 顯

大学振興会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は梶山女学園大学振興会にお力添えを賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、令和8年7月に書面にて開催されました役員会・評議員会におきまして、昨年度に引き続き会長の大役を仰せつかりました。何分にも不行届きではございますが、大学及び大学振興会の発展のため尽力してまいりたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

いま、全国的に女子大の共学化が進むなど、大学を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。そんな中、本学園は「女子教育宣言」を発表し、これからも女子大としての伝統と誇りを大切に守り、次代へ繋いでしていくことを力強く宣言いたしました。社会の無意識の偏見や既成概念にとらわれることなく、学生たちが自らの可能性を信じて、自分らしくのびのびと挑戦できる場所があること。そして、生涯にわたって自立した女性として社会へ羽ばたいていける確かな環境があること。これこそが、梶山が長い歴史の中で築き上げてきた、他には代えがたい素晴らしい価値なのだ改めて強く感じております。また、学園は2030年に創立125周年という大きな節目を迎えます。この歴史的な節目に向けて、星が丘キャンパスでは新たな学びの拠点となる記念棟の建設が進むなど、次の時代を見据えた新しいキャンパスの整備が着々と始まっています。施設の充実だけでなく、教育内容の進化とともに新しく生まれ変わろうとしている、こうした大切な変革の時期だからこそ、これから生きる学生たちがここで多くを学び、どのような輝かしい未来を描いていくのか、本当に楽しみでなりません。

今後も、大学振興会では、課外活動補助や就職活動補助など、様々な補助事業を通じて、ご息女のキャンパスライフがより充実したものになるようサポートしていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

梶山女学園大学

学長 黒田 由彦

大学振興会会員の皆様におかれましては、日頃より梶山女学園大学に温かいご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

本学は、本年度1,310名の学部新入生を迎え、全学の在学者数は5,012名となりました。

ここ数年、少子化や社会の変化を背景に、女子大学を取り巻く状況には厳しさが増しております。本年5月には、金城学院大学様が共学化に踏み切られるとの報道があり、全国ニュースとしても大きく報じられました。こうした状況を受け、本学園では、保護者の皆様、学生、そして広く社会の皆様に向けて、女子教育に対する私たちの考えをお伝えするため、「梶山女学園女子教育宣言」を公表いたしました。おかげさまでこの宣言は新聞・テレビ等のメディアにも取り上げていただき、卒業生や保護者の皆様をはじめ、多くの方々から女子教育を堅持するという本学の方針に対する温かい応援の声をお寄せいただきました。こうした声の一つひとつに、私たちは大きく勇気づけられております。

宣言でもお伝えしましたとおり、私たちが大切にしているのは、これまでの形式をそのまま守り続けることではなく、教育の中身を時代の要請に応じて絶えず見直し、進化させていくことです。デジタル化やグローバル化が進み、女性の生き方や働き方も大きく変わりつつある今だからこそ、学生一人ひとりが自ら考え、主体的に社会に働きかける力を育むことが大切だと考えております。本学は今後も、社会の「当たり前」に臆せず向き合い、それを自らの手で変えていく自立した女性を、一人でも多く社会に送り出してまいりたいと存じます。そのために、学びの内容や機会を一つひとつ丁寧に見直しながら、着実に歩みを進めてまいります。

保護者の皆様と密接に連携しながら、学生たちに素晴らしい教育環境を提供できるよう、教職員一同力を合わせてまいりますので、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2 令和7年度事業報告

1. 補助関係

①課外活動補助

クラブ・同好会（合計26団体）に対して総額3,372,980円の課外活動補助を行った。

②課外活動学生傷害補助

支出なし

③大学祭等行事費補助

令和7年10月18日（土）、19日（日）に開催された梶大祭（テーマ『Layers』）及び入学式の祝い花等に対して、総額2,005,491円の補助を行った。

④海外留学補助

以下のとおり、総額600,000円の補助を行った。

派遣交換留学：2名に200,000円

セメスター留学（中期留学含む）：4名に400,000円

⑤就職活動補助

学生の就職活動補助として、キャリアガイドブック+デジタルブック、インターンシップ合同説明会オンラインサイト構築等、総額3,211,115円の補助を行った。

⑥学部補助

各学部で実施する学生生活振興事業に対し、総額2,369,060円の補助を行った。

（内訳）生活科学部	＝546,965円
外国語学部・国際コミュニケーション学部	＝257,400円
人間関係学部	＝311,245円
情報社会学部・文化情報学部	＝338,477円
現代マネジメント学部	＝404,500円
教育学部	＝262,973円
看護学部	＝247,500円

⑦事業補助

徳川美術館メンバーシップ、名古屋市美術館学生メンバーズ、Sonoligo Futureゴールドパートナー料、ベストティーチャー賞賞品等に対して総額2,332,089円の補助を行った（名古屋市博物館は閉館中）。

※令和7年度ベストティーチャー：外国語学部 堀江里香講師

⑧慶弔費

以下のとおり、総額90,000円の補助を行った。

香典：9件

2. 事業関係

①図書、備品等充実

学生生活のより一層の充実に寄与すべく、図書（振興会文庫）、移動式ミラー、パソコン、バナースタンドの購入等の補助を行った（総額2,728,963円）。

②卒業記念品の贈呈

卒業生に卒業証書ファイルを記念品として贈呈した（総額924,000円）。

③「父母の集い」の開催

令和7年11月8日（土）に「父母の集い」を開催し、総額1,643,326円の補助を行った。

概要は以下のとおり。

①キャンパスツアー

②就職事情説明会

（就職事情説明会、教育学部対象就職説明会、看護学部対象就職説明会）

③大学の現状報告

④著名人による講演会

講師：近藤サト氏（フリーアナウンサー・ナレーター）

演題：コンプレックスを成功の糧に

～白髪になって得たもの無くしたもの～

【参加者：ご父母382名】

3. 会議関係

○第1回役員会・評議員会

日 時 令和7年6月21日（土）10：00～13：30

場 所 名古屋ガーデンパレス

出席数 役員・評議員35名

①令和6年度会計監査

②令和7年度役員選考委員会

③旧役員・評議員会

議 事 ○令和6年度事業報告について

○令和6年度決算及び会計監査報告について

○令和7年度新評議員について

○令和7年度役員・会計監査について

（以上、いずれも承認）

④新役員会・評議員会

議 事 ○大学開学80周年記念事業費（積立）について

○令和7年度事業計画（案）について

○令和7年度予算（案）について

○その他

・令和7年度「父母の集い」について

（以上、いずれも承認）

⑤懇親会

令和7年度決算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
振興会予算について下記の通り決算しました。

令和8年3月31日

振興会会長 總 見 宗 顯

会計監査報告

会計諸帳簿、証憑書類監査の結果
この決算は、正当なものと認めます。

令和8年6月27日

会計監査 鈴木 さをり
梅村 さつき
出崎 敦子
澁谷 明美

令和7年度 相山女学園大学振興会決算書

収入の部

単位：円

区 分	予算額	決算額	差 引	備 考
1、入会金	2,524,000	2,520,000	4,000	
生活科学部	506,000	506,000	0	2,000円×253名
外国語学部	294,000	292,000	2,000	2,000円×146名
国際コミュニケーション学部	4,000	4,000	0	2,000円×2名
人間関係学部	308,000	306,000	2,000	2,000円×153名
情報社会学部	318,000	318,000	0	2,000円×159名
文化情報学部	2,000	2,000	0	2,000円×1名
現代マネジメント学部	418,000	418,000	0	2,000円×209名
教育学部	392,000	392,000	0	2,000円×196名
看護学部	282,000	282,000	0	2,000円×141名
2、会費	19,536,000	19,496,000	40,000	
生活科学部	4,344,000	4,340,000	4,000	4,000円×1,085名
外国語学部	964,000	960,000	4,000	4,000円×240名
国際コミュニケーション学部	1,112,000	1,104,000	8,000	4,000円×276名
人間関係学部	2,464,000	2,452,000	12,000	4,000円×613名
情報社会学部	1,168,000	1,168,000	0	4,000円×292名
文化情報学部	1,508,000	1,504,000	4,000	4,000円×376名
現代マネジメント学部	3,216,000	3,208,000	8,000	4,000円×802名
教育学部	2,792,000	2,792,000	0	4,000円×698名
看護学部	1,968,000	1,968,000	0	4,000円×492名
3、その他の収入	0	37,135	-37,135	普通預金利息37,135円
4、前年度繰越金	10,194,546	10,194,546	0	
合 計	32,254,546	32,247,681	6,865	

支出の部

単位：円

区 分	予算額	決算額	差 引	備 考
1、補助費	22,466,000	14,466,275	7,999,725	
(1) 課外活動補助	6,000,000	3,372,980	2,627,020	クラブ、同好会への補助
(2) 課外活動学生傷害補助	50,000	0	50,000	
(3) 大学祭等行事費補助	2,470,500	2,005,491	465,009	大学祭への補助、入学式の祝い花等
(4)-1 海外留学補助（今年度分）	2,500,000	600,000	1,900,000	6名
(4)-2 海外留学補助（翌年度分）	2,500,000	0	2,500,000	※R7年度中に募集する派遣交換留学生の翌年度分の補助額
(4)-3 国際交流活動補助	500,000	485,540	14,460	海外研修パンフレット印刷代等
(5) 就職活動補助	3,300,000	3,211,115	88,885	キャリアガイドブック+デジタルブック、インターンシップ 合同説明会オンラインサイト構築運営補助（業者へ委託）等
(6) 学部補助	2,470,500	2,369,060	101,440	
生活科学部	547,000	546,965	35	生活科学部棟ガラスフィルム貼替工事等
外国語学部・国際コミュニケーション学部	271,500	257,400	14,100	オーバルS使用料
人間関係学部	312,000	311,245	755	ノートパソコン、ウォーターサーバー年間使用料等
情報社会学部・文化情報学部	338,500	338,477	23	空気洗浄機フィルター、芳香演出装置レンタル等
現代マネジメント学部	404,500	404,500	0	オーバルS使用料
教育学部	349,500	262,973	86,527	消耗品
看護学部	247,500	247,500	0	観葉植物レンタル、消耗品
(7) 事業補助	2,475,000	2,332,089	142,911	徳川美術館大学メンバーシップ学生会員年会費、 名古屋市美術館学生メンバーズ会費、Sonoligo Future ゴールドパートナー料、ベストティー チャー賞賞品、賞金100,000円 ※受賞者1名 お香典9件
(8) 慶弔費	200,000	90,000	110,000	
2、事業費	6,245,000	5,296,289	948,711	
(1) 図書、備品等充実	3,300,000	2,728,963	571,037	振興会文庫、移動式ミラー、パソコン、パナースタンド等
(2) 卒業記念品贈呈	945,000	924,000	21,000	証書ファイル1,200冊@700円（税抜）
(3) 父母の集い等開催費	2,000,000	1,643,326	356,674	11月8日実施アルバイト料、講演謝礼、昼食代等
3、会合費	1,000,000	860,194	139,806	6月21日大学振興会総会開催費、大学振興会退会者への記念品
4、事務費	1,300,000	996,724	303,276	
(1) 印刷費	500,000	412,500	87,500	会報、「父母の集い」案内
(2) 事務諸費	800,000	584,224	215,776	郵便料等
5、大学開学80周年記念事業費 (キャンパス整備に伴う環境整備積立)	1,000,000	1,000,000	0	R11年度 大学開学80周年記念事業積立 (R8年3月末時点残高:17,010,048円)
6、予備費	243,546	0	243,546	
7、次年度繰越	0	9,628,199	-9,628,199	
合 計	32,254,546	32,247,681	6,865	

4

令和8年度役員・会計監査・評議員・顧問（敬称略）

(1)役員・会計監査（会則第5条第1号による）

会 長	總 見 宗 顯（情・メ・2022）	再任	会 計	鈴 木 さをり（生・環・2024）	新任
副 会 長	足 立 仁 美（国・言・2023）	再任	会 計	澁 谷 明 美（人・心・2025）	新任
副 会 長	戸 澤 浩 史（外・国・2024）	新任	会 計	出 崎 敦 子（情・現・2025）	新任
書 記	佐 倉 聖 子（生・管・2023）	再任	会計監査	梅 村 さつき（外・英・2026）	再任
書 記	川 口 江美香（人・人・2023）	再任	会計監査	鈴 木 英 樹（情・情・2026）	新任
書 記	篠 原 里 絵（現・2024）	新任	会計監査	伊 藤 礼 子（情・情・2026）	新任
			会計監査	三 輪 ゆか子（教・初・2026）	新任

(2)評議員（会則第6条による）

村 瀬 陽 子（生・環・2023）	河 合 幹 枝（人・心・2024）	吉 田 潤 子（教・保・2023）
末 武 値 恵子（生・環・2023）	澁 谷 明 美（人・心・2025）	内 山 ゆかり（教・初・2024）
中 山 明 希（生・管・2024）	大 谷 和 恵（人・心・2026）	原 田 友 香（教・保・2025）
牧 野 佳 乃（生・管・2025）	篠 田 祐 子（情・情・2023）	三 輪 ゆか子（教・初・2026）
北 田 美由樹（生・管・2026）	石 原 麻 衣子（情・メ・2023）	江 崎 道 代（看・2023）
金 井 珠 恵（国・言・2023）	川 瀬 浩 世（情・情・2024）	竹 村 佳 子（看・2023）
前 口 操（国・言・2023）	坪 田 牧 子（情・情・2025）	星 野 そ も 子（看・2024）
本 郷 沢 美（外・英・2024）	梅 崎 知 里（情・情・2026）	仲 田 こ ず え（看・2025）
筒 井 美 和（外・英・2025）	加 藤 和 香（現・2023）	千 田 清 栄（看・2026）
梅 村 さつき（外・英・2026）	日 沖 美 保（現・2024）	
藤 田 有 子（外・英・2026）	高 武 未 緒（現・2026）	
福 谷 典 子（人・人・2023）	太 田 千 裕（教・初・2022）	

(3)顧問（会則第5条第2号による）

学 長	黒 田 由 彦	教 育 学 部 長	磯 部 錦 司
生 活 科 学 部 長	藏 澄 美 仁	看 護 学 部 長	小 林 純 子
外 国 語 学 部 長	藤 岡 阿由未	副 学 部 長	山 口 雅 史
人 間 関 係 学 部 長	藤 原 直 子	総 務 部 長	加 藤 珠 穂
情 報 社 会 学 部 長	羽 成 隆 司		
現代マネジメント学部長	植 林 茂		

5

令和8年度事業計画

1. 補助費

- (1) 課外活動補助
- (2) 課外活動学生傷害補助
- (3) 大学祭等行事費補助
- (4) 海外留学補助・国際交流活動補助
- (5) 就職活動補助
- (6) 学生チャレンジ奨励補助
- (7) 学部補助
- (8) 事業補助
- (9) 慶弔費

3. 会合費

役員会・評議員会（年1回開催）

4. 大学開学80周年記念事業費（積立）（キャンパス整備に伴う環境整備積立）

2. 事業費

- (1) 図書・備品等の充実
- (2) 卒業記念品贈呈
- (3) 父母の集い等開催費（年1回開催）

収入の部

単位：円

区 分	令和 8 年度	令和 7 年度	前年度比増減	備考（※学生数は 5 月 1 日の休学者を除く 学生数）
1、入会金	2,644,000	2,524,000	120,000	
生活科学部	562,000	506,000	56,000	2,000円×(280名+編入 1 名)
外国語学部	290,000	294,000	-4,000	2,000円×(141名+編入 4 名)
国際コミュニケーション学部	0	4,000	-4,000	2,000円× 0 名
人間関係学部	368,000	308,000	60,000	2,000円×(179名+編入 5 名)
情報社会学部	314,000	318,000	-4,000	2,000円×(156名+編入 1 名)
文化情報学部	0	2,000	-2,000	2,000円× 0 名
現代マネジメント学部	448,000	418,000	30,000	2,000円×224名
教育学部	378,000	392,000	-14,000	2,000円×(188名+編入 1 名)
看護学部	284,000	282,000	2,000	2,000円×142名
2、会費	19,872,000	19,536,000	336,000	
生活科学部	4,356,000	4,344,000	12,000	4,000円×1,089名
外国語学部	1,508,000	964,000	544,000	4,000円×377名
国際コミュニケーション学部	588,000	1,112,000	-524,000	4,000円×147名
人間関係学部	2,512,000	2,464,000	48,000	4,000円×628名
情報社会学部	1,804,000	1,168,000	636,000	4,000円×451名
文化情報学部	788,000	1,508,000	-720,000	4,000円×197名
現代マネジメント学部	3,412,000	3,216,000	196,000	4,000円×853名
教育学部	2,864,000	2,792,000	72,000	4,000円×716名
看護学部	2,040,000	1,968,000	72,000	4,000円×510名
3、その他の収入	0	0	0	預金利息等
4、前年度繰越金	9,628,199	10,194,546	-566,347	
合 計	32,144,199	32,254,546	-110,347	

支出の部

単位：円

区 分	令和 8 年度	令和 7 年度	前年度比増減	備考（※学生数は 5 月 1 日の学生数）
1、補助費	22,765,000	22,466,000	299,000	
(1) 課外活動補助	5,200,000	6,000,000	-800,000	クラブ、同好会活動・特別活動補助
(2) 課外活動学生傷害補助	50,000	50,000	0	課外活動中の傷害で13日以内の治療費の補助
(3) 大学祭等行事費補助	2,506,500	2,470,500	36,000	大学祭等の補助、@500円×5,013名
(4)-1 海外留学補助（今年度分）	2,500,000	2,500,000	0	認定留学、中期留学、派遣交換留学生への補助
(4)-2 海外留学補助（翌年度分）	2,500,000	2,500,000	0	今年度中に募集する派遣交換留学生の翌年度分の補助額
(4)-3 国際交流活動補助	500,000	500,000	0	
(5) 就職活動補助	3,300,000	3,300,000	0	キャリアガイドブック、マナー講座講師謝礼等
(6) 学生チャレンジ奨励補助	1,000,000	0	1,000,000	
(7) 学部補助	2,506,500	2,470,500	36,000	
生活科学部	546,500	547,000	-500	500円×1,093名
外国語学部・国際コミュニケーション学部	269,500	271,500	-2,000	500円×（外国語383名+国コミ156名）
人間関係学部	317,500	312,000	5,500	500円×635名
情報社会学部・文化情報学部	327,500	338,500	-11,000	500円×（情社452名+文情203名）
現代マネジメント学部	429,000	404,500	24,500	500円×858名
教育学部	360,000	349,500	10,500	500円×720名
看護学部	256,500	247,500	9,000	500円×513名
(8) 事業補助	2,502,000	2,475,000	27,000	寮会補助、ベストティーチャー賞賞品・賞金 sonoligo 参加費(※1)、徳川美術館(※2)、名古屋美術館(※3) ※1 sonoligo 参加費 R 6 年度…962,500円 R7・8 年度…3,300,000円の内、半額の1,650,000円を 振興会予算より支出 ※2 徳川美術館大学メンバーシップ学生会員年会費375,000円 R 3 年度まで…160,000円学園予算より支出、170,000円 振興会予算より支出 R4・5 年度…330,000円全額を振興会予算から支出 R 6 年度…375,000円全額を振興会予算から支出 ※3 名古屋美術館学生メンバーズ R 5 年度…6 月入会157,500円（但し超過利用分清算金 149,500円を追加支払） R 6 年度…210,000円 R 7 年度…150,000円（但し超過利用分清算金発生の可 能性有り。上限40万円） R 8 年度…R 7 年度分超過利用分清算金27,000円を追加 支払 ※ 名古屋博物館大学パートナーシップ加盟料 例年…280,000円 R 5 年度…リニューアル改修工事のため124,000円(156,000 円減額) R6～8 年度…休館のため、加盟料発生無し 学生保護者逝去時お香典、自宅火災の際等のお見舞金 1 万円
(9) 慶弔費	200,000	200,000	0	
2、事業費	5,604,080	6,245,000	-640,920	
(1) 図書、備品等充実	3,000,000	3,300,000	-300,000	振興会文庫 1,300,000円 備品等（学生課） 1,000,000円 備品等（管財管繕課） 500,000円 備品等（総務課） 200,000円 卒業証書ファイル @770×1,304名 R 8 年度は11月の 1 回開催予定 ※減額した予算はR9.4の125周年記念棟開所式での講演を企画する。 役員会・評議員会開催費、大学振興会退会者への記念品
(2) 卒業記念品贈呈	1,004,080	945,000	59,080	会報、「父母の集い」案内、封筒等印刷費 郵送料、事務用品購入等
(3) 父母の集い等開催費	1,600,000	2,000,000	-400,000	キャンパス整備に伴い食堂リニューアル等のため、100万円を積み立てる。 (R 8 年 3 月末時点残高:17,010,048円)
3、会合費	1,000,000	1,000,000	0	
4、事務費	1,300,000	1,300,000	0	
(1) 印刷費	500,000	500,000	0	
(2) 事務諸費	800,000	800,000	0	
5、大学開学80周年記念事業費 (キャンパス整備に伴う環境整備積立)	1,000,000	1,000,000	0	
6、予備費	475,119	243,546	231,573	
合 計	32,144,199	32,254,546	-110,347	

第 1 条 本会は、椋山女学園大学振興会といい、事務所を椋山女学園大学内に置く。

第 2 条 本会は、椋山女学園大学の教育及び研究振興に協力し、併せて会員相互の連携を計ることを目的とし、諸種の事業を行う。

第 3 条 本会は、椋山女学園大学に在籍する学生の父母をもって組織する。

第 4 条 本会には、次の役員、会計監査及び顧問・参与を置く。任期は 1 年とし、その任務は次のとおりとする。

会 長	1 名	本会の会務を総理し、会議の議長となる。
副 会 長	2 名	会長を補佐し、会長事故ある場合は職務を代行する。
書 記	3 名以内	本会の書記を掌る。
会 計	2 名	本会の会計を掌る。
会 計 監 査	4 名以内	本会の会計を監査する。
顧問・参与	若干名	会長の諮問に応じ、会議に出席することができる。

第 5 条 本会の役員、会計監査及び顧問・参与は、次のように定める。

- (1) 役員及び会計監査は、毎年度初めに評議員会において、役員選考委員会によって選出された候補者について承認を得て定める。役員選考委員会は、評議員会から推薦された各学部在籍する学生の父母である評議員各 1 名をもって構成する。
- (2) 顧問・参与は、会長が必要に応じ、役員会に諮って委嘱する。

第 6 条 本会に評議員を置く。評議員は、各学部の各学年に在籍する学生の父母のうちから推薦された代表者各 1 名又は 2 名とし、任期は子女である学生の在籍期間とする。

第 7 条 本会は、次の会を持つ。各会は、構成員の 2 分の 1 以上出席して成立し、議決は、出席者の 3 分の 2 以上の賛成を得なければならない。

- (1) 役員会は、本会の運営について審議企画する。役員会は、役員及び会計監査をもって構成し、会長がこれを招集する。
- (2) 評議員会は、予算、決算及び役員承認等重要事項を議決し、会員に報告する。評議員会は、毎年度初めに会長が招集する。

第 8 条 本会の経費は、入会金2,000円、会費年額4,000円及びその他収入をもって充てる。

2 入会金は入学時の、会費年額は毎学年度の初めの、それぞれ別に指定する日までに、事務所に納入する。

第 9 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月31日に終わる。

第10条 本会則の改廃は、評議員の議決を要する。

附 則

本会則は、昭和54年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 本会則は、昭和58年 4 月 1 日から施行する。

2 改正後の第 8 条に規定する入会金・会費の金額については、昭和58年以後に入学した学生の父母について適用し、昭和57年度以前に入学した学生の父母については、改正前の金額を適用する。

附 則

本会則は、昭和58年 6 月11日から施行する。

附 則

本会則は、昭和61年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和60年度以前に入学した学生の父母に対しては、第 8 条に規定する入会金・会費の金額について、改正前の金額を適用する。

附 則

本会則は、昭和62年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本会則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本会則は、平成13年 4 月 1 日から適用する。

附 則

本会則は、平成29年 4 月 1 日から適用する。

附 則

本会則は、令和 5 年 6 月17日から施行し、令和 5 年 4 月 1 日から適用する。